

## 情報公開文書

### ◆ 「診療録を用いた大腸癌の集学的治療に関する後方視的観察研究」

#### 1. 研究の対象となる方

2000年1月～2018年12月に当センターで大腸癌と診断された患者さん

#### 2. 研究目的・研究の方法

大腸癌は結腸・直腸に発生する悪性新生物であり、厚生労働省の人口動態統計によると、わが国の大腸癌死亡数は増加し続けています。2017年の大腸癌死亡数は臓器別で肺癌に次いで多く、女性では全悪性新生物の臓器別死亡数で最多です。男性では、肺癌、胃癌に次いで多く、胃癌が減少傾向であるのに対し、大腸癌の死亡数は増加傾向です。2014年の罹患率では、男女合わせて最多となっています。このような状況のなかで、大腸癌の治療成績の向上が喫緊の課題となっており、そのためには、患者背景・進行度・腫瘍の特徴に応じた治療戦略の策定が重要です。そこで、本研究では、当センターにて治療を受けた大腸癌患者の臨床病理学的因子と内視鏡治療・手術・化学療法・放射線治療などを組み合わせた集学的治療の選択およびその治療成績を解析します。診療録をもとに診療情報を後向きに解析し、自施設における大腸癌治療の有効性・妥当性を検証します。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢・性別などの患者背景、治療法（内視鏡治療・手術（術式）・化学療法・放射線治療）、術期経過、転帰等。

#### 4. 研究が行われる機関および研究者名

研究機関 千葉県がんセンター 食道・胃腸外科  
研究責任者 外岡 亨

#### 5. 研究責任者

千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 外岡 亨

#### 6. 個人情報の保護について

利用する情報からは患者さんを直接特定できるような個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌等での発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できるような個人情報は利用しません。

#### 7. 研究の資金源および利益相反について

本研究に必要な経費は千葉県がんセンターからの研究費が利用されます。研究に関する利益相反は、当センターの利益相反委員会の審査を受けています。

8. この研究は倫理審査委員会の承認が得られています

本研究は当センターの倫理審査委員会で審議され、研究の承認が得られています。

9. この研究にあなたの情報を利用して欲しくない時はご連絡ください

あなたの情報を研究に用いられることを、あなたまたは代理人の方にご了承いただけない場合は研究対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。研究に参加しなかった場合でも、患者さんに不利益が生じることは全くありません。

また、本研究に関するご質問がある場合も下記へお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書および研究の計画に関する資料を閲覧することができますのでお知らせください。

研究責任者 千葉県がんセンター 食道・胃腸外科 主任医長 外岡 亨  
〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町 666-2  
TEL 043-264-5431(代表番号)